

平成 29 年 10 月 20 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

東京都が国内自治体として初めて発行するグリーンボンド **「東京グリーンボンド」の引受けについて**

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 長岡 孝、以下当社）は、このたび、東京都が国内自治体として初めて発行するグリーンボンド⁽¹⁾「東京グリーンボンド」（発行総額 100 億円：5 年債 50 億円、30 年債 50 億円）の引受けにおいて、起債で中心的な役割を担う事務主幹事を務め、本日、東京グリーンボンドの条件を決定した旨を公表しましたことをお知らせします。

東京都は東京グリーンボンドの発行を通じて、新たな環境施策の推進やグリーンボンド市場の活性化に寄与するとともに、機関投資家に対して社会的責任を果たすための投資機会を提供することにより、企業の環境配慮意識を醸成し、社会的な評価を受けられる環境整備の促進を目指しています。東京グリーンボンド発行による調達資金は、スマートエネルギー／クール・クリーンで快適な都市づくりや気候変動の影響への適応に関連した事業等に充当される予定です。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006 年に国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) が制定されて以来、世界の ESG 投資⁽²⁾が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(東京グリーンボンドの概要)

債券名：東京グリーンボンド（5年／30年）第1回債
取得格付：A+（S&P）
年限：5年（2022年9月20日償還）／30年（2047年9月20日償還）
発行総額：100億円（5年債50億円、30年債50億円）
利率：5年債0.020％／年、30年債0.982％／年
発行日：2017年10月31日
主幹事：5年債 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券
30年債 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、メリルリンチ日本証券

- (1) グリーンボンドは、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。東京グリーンボンドは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、国内自治体として初めて第三者機関による評価を取得している（第三者機関：oekom research AG）。
- (2) ESG投資は、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉であり、これらの要素に配慮している企業を重視・選別して行う投資のこと。

以上